

## ～ 一生懸命に ～

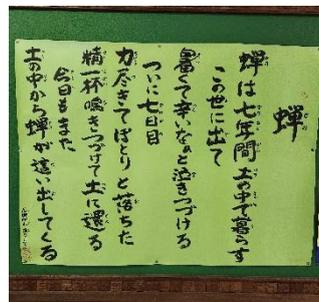


朝、登校指導に向かうと、日に日にあちらこちらから聞こえてくるセミの声が大きくなってきているのを感じます。セミの声を聞くと、やっぱり夏だと実感します。セミと言えば、私が小学校卒業の際に、大好きだった担任の先生に書いてもらった寄せ書きの言葉があります。

『**セミの命は1週間！！**』

当時は、その意味がよく分かりませんでした。大人になってひとり合点しています。セミは、幼虫の間、暗い地面の下で何年も暮らします。成虫になるための力を人間には見えない土の中で、ずっと蓄えます。地上に出てきて蛹になると、殻を破って幼虫とは全く別の姿に変わって出てきます。成虫になると、蓄えていた力を一気に放出するかのよう、力いっぱい鳴きます。地中で暮らしていた時間を考えると、真夏の太陽を浴びることができる時間はとても短いですが、その命尽きるまで、精一杯鳴き続けます。

担任の先生はきっと『セミの命は1週間』という言葉で、毎日を力いっぱい、精いっぱい生きることの大切さを伝えたかったのかなと思います。セミのように、一生懸命にがんばってほしいと。ちなみに、近年までセミの命は1週間というのが通説だったようですが、ある小学生が何年もかけて調査した結果、もう少し長く生きられることがわかりました。成虫になって1か月以上生き続けるセミもいるらしいです。その小学生は、それこそ一生懸命に、精一杯に調査して、そのことに辿りついたのでしょう。



西神吉っ子みなさんも、夏休みには、どんなことでも構いません。何か一つ、一生懸命に取り組んでみてほしいです。やらされるのではなく、自分がやりたいと思うことをです。私も、この夏、目標を決めてがんばろうと思っています。くじけそうになった時は、セミの声を聞いて、気持ちを奮い立たせようと思います。

### 西神吉っ子の一コマ



**4年生、  
着衣水泳！！**



**1年生、  
水であそぼう！！**

